



The Y's MEN's CLUB of



もりおか



<VOL113.2017.5>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長 Joan Wilson
アジア地域会長 Tung Ming Hsiao
東日本区理事 利根川 恵子
北東部長 長岡 正彦
もりおかクラブ会長 井上 修三

「私たちの未来は、今日より始まる」
「ワイズ運動を尊重しよう」
「明日に向かって、今日動こう」
「明日のために、いま土台を築こう」
「2017チャリティラン in 盛岡を成功させよう」

今月の聖句 マタイによる福音書4章4節

「人はパンだけで生きるのではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる。」

会長 井上 修三
副会長 三田 庸平
書記 濱塚 有史
会計 大関 靖二
担当主事 小川 嘉文
メネット 井上 優子

6月定例会のご案内

日時 平成29年6月10日(第2土曜日) 18時30分
場所 きのえね本店 会費2,000円
卓話
第二例会 6月16日(金) 18時30分
場所 きのえね本店

井上会長巻頭挨拶



井上会長

青葉若葉の美しい季節。丸坊主にされた銀杏の木も緑の洋服を纏い人々の目を楽しませている。ここ滝沢ニュータウンと呼ばれる地区も30年を経て庭に植えられた樹木も立派に成長し人々の目を楽しませてくれる。住所は鵜飼狐洞泉外の友人は「さぞかし大変なところでしょうね。」と気の毒が

ってくれるのです。我借家の真向かいの家は10年前に引越してきた当日、70代後半とおぼしきご婦人に挨拶に伺ったのを最後に空家状態が続いており、狸の親子(親、子狸2匹)が道路を横切りその敷地に消えていく姿を数度みかけたものです。ところが3週間前から解体作業が始まり、昨日100坪の見事な更地が…。

作業をすすめる監督さんに狸の巣穴のようなものはなかったか聞いてみたのですが、「そんなものは見当たらなかった」とのこと。少々寂しい私ですが、この辺も空家がぽつぽつ見受けられるので、元気に暮らしているだろうと思うことにしました。

それにしても3匹の横列状態の美しかったこと。などと思いに浸っているうちに時は過ぎ、チャリティランも7回の委員会を数え、厳しさも実感。踏ん張らないと。目いっぱい動いている、伊藤スタッフをはじめメンバーのみなさんに「お飾り井上」では申し訳ない。それにしても「走りたいけど費用がね…」ではなく「協賛金は出すけど人は出せない。みんな(年で)走れないから」とは以外なことでした。まだまだこれから話題が増えることでしょう。お楽しみに。

5月第一例会の報告

平成29年5月12日(金) ジャーラン・ジャーラン開催。出席者: 山口、大関、長岡、井上、井上優子、根内、濱塚(敬称略) ゲスト、小林 美彦様(あずさ部長野クラブ、第19回東日本区大会実行委員)、小林 晶子様(小林美彦様メネット)、魚住 英昭様(盛岡YMCA理事長)、井上 勇二郎様(仙台青葉城クラブ、井上会長の次男)、井上 敏様(井上会長の弟)、東森 聡(盛岡YMCA前湯センター、センター長)、以上14名の参加で開催されました。

本日のメインゲストは、長野クラブの小林さんご夫妻です。

なんと、もりおかクラブの定例会に、はるばる長野から新幹線2つを乗り継いでご参加いただきました。しかも小林さんは身体障害をお持ちです。左半身が病気で麻痺が残り、不自由な生活を送っています。献身的に支える奥様とお二人で来ていただきました。小林さんは障害者の「社会参加の進め」を積極的に行っており、奥様と一緒に数々の行事に参加、また自ら行事を企画運営して、幅広く活動されています。昨年、東山荘での会長研修会で初めてお会いしてから、意気投合しお友達になりました。今晩は卓話を頂きました。このあと特集しております。平日の例会開催という事で、盛岡YMCAのリーダーは明日のプログラムの準備で参加できませんでしたが、井上会長のご次男、弟さ、

ん魚住理事長、東森さん、ご参加ありがとうございました。



大人の定例会でした。皆様ありがとうございました。

ユニバーサルツーリズム

小林美彦、晶子ご夫妻



小林さんご夫妻

皆様こんばんは、小林晶子と申します。長野ワイズメンズクラブに所属しております。今日は長野からやってまいりました、よろしく願い

いたします。みなさん、ユニバー

サルツーリズムという言葉聞いた事がありますか。障害の有無や年齢性別に関係なく、誰もが気兼ねなく楽しめる旅行。1990年代後半以降に、ユニバーサルデザインの考え方を受けて広がってきました。観たい、行きたい、食べたい、参加したい、泊まりたい、温泉に入りたい…。これらを叶えるには地元との連携が求められますがまだまだ課題が多く存在しています。山岳観光を誰でも楽しむために、長野県では、山の日が国民の休日に指定される以前から山の日がありました。障害のある方々も観光に来てもらおうと考えて、そうするとユニバーサルツーリズムに繋がってくるのです。

障害者差別解消法は昨年の4月に施行され、合理的配慮が法律で規定されています。ホテルからここのビルまで移動する間に2つの地上と地下通路を結ぶエレベーターに二回のみでしたが、最近完成したという事で、あれもこの法律の合理的配慮でできたエレベーターですね。障害者が望む事柄には行政が対応しなければならぬという事ですね。民間企業は義務ではなく努力目標です。

長野の諏訪地区はユニバーサルツーリズムの先進的な地域です。山岳リゾート、温泉、福祉と観光をセットにして、温泉に入り、山の観光を楽しんでもらう事を地域一帯で進めています。冬のスキー、夏は百合園、道路は砂利道です。車いすではなかなか大変な道路です。障害者と家族が行こうと思ったときに、ユニバーサルツーリズムなのです。悪路を進むのに適した車いすを準備しています。

今年の2月に着座型スキー、デュアルスキーと言います、これ

を準備しまして体験会を行いました。着座して乗ったスキーを後



競技用のチェアスキーとまったく違います

ました。

ろのドライバーと呼ばれるスキーヤーがまるで車いすを押ししているかのようなスキーの形態です。どのような斜面も自由自在、リフトにもこのスキーに着座したまま乗ることが出来ます。20人の

健康者が集まり会が成立し



優れたJINRIKI



森本会長体験です。

夏のシーズンになりアウトドア用の車いすということで、皆さんに紹介して使っていただきたく、

「JINRIKI」の体験会を行いました。普通の車いすに「舵ぼう」を装着すると、リアカーのようになります。車いすの前輪を浮かして、前から引っ張り、後ろから押すことで、かなりの斜面や段差を楽々乗り越える事ができます。災害時の避難などを目的に開発されましたが、通常時でも段差がある場所や、坂を上るときに使用して、素晴らしい威力を発揮してくれます。現在JRでは、搭乗、降車、乗り継ぎ等での介助サービスを行っております。これは、乗り継ぎなどで出発の時間が迫っているときなどに、障害者が安心してJRを利用できるサービスです。まだまだ知られていませんが、今日も長野、大宮、盛岡でこのサービスを利用してきました。ユニバーサルツーリズムという概念がすこしずつ浸透してきたかなと思っています。長野クラブは私がこういう体ですので、みんな熱心にバリアフリーや今日話したユニバーサルツーリズムについて熱心に取り組んでくれています。素晴らしい仲間たちです。

長野クラブ、小林さんご夫妻が来盛。

5月12日、長野ワイズメンズクラブの小林美彦さん、晶子さんご夫妻が、もりおかクラブの定例会に出席していただくために二つの新幹線を乗り継いで来ていただきました。ドタバタの盛岡紀行をご紹介します。

新幹線ホームに到着すると、乗車車両の降り口付近に車いすと若い女性のJRの職員が立っていました。ぴんと来た長岡は、「小林さんの出迎えですね。」と声をかけました。やさしく微笑んで「そうです。」と応対してくれました。新幹線が到着すると、久々の再開に握手を交わし、エレベーターを二つ乗り継

いで駅の外へ、なんと駐車場の車まで送ってくれました。JRはこんなに親切だったっけ？小林さん「ユニバーサルツーリズムの対応ですよ。」ん？なんだ？長岡はなんのことやら。夜の例会卓話で理解したのです。午後1時40分、お昼がまだとの事で、まずは白龍(パイロン)のじゃじゃ麺です。小林さんのもりおか3大麺の事を知っていて、ぜひ食べたいと、行きました白龍。狭く汚い店で、じゃじゃ麺をチータンタンスープまでいただきました。きしめんのようなうどんの上に肉みそがのっている、中華風ミートソースとでもいいでしょうか、文章ではお伝えできない味わいです、ぜひ盛岡でどうぞ。

お腹を満たしたあとは、小林さんが持ってきた車いすのアップデート「JINR

IKI」を装着して盛岡城跡公園へ突入しました。このJINRIKIは一般の車いすに簡単に取り付けて車いすがリアカーのようになり、車いすの前輪が浮き上がり、段差の乗り越え、坂の登坂などを楽にこなせる優れもの、分解して持ち運びが楽ちん。組み立てて装着して、「よし行こう」確かに坂を押して公園の坂を上る事を考えるとパスしたくなりますが、これならいける。ただ、引っ張るのは若い体力が必要ですね、長岡がひっぱって登りましたが基本的な体力に問題がありますねえ。公園を一周して、中津川河畔のビクトリアロードを新渡戸の話し、カナダとの姉妹都市の話などをして、岩手日報本社前に到着。「このJINRIKIを日報にアピールしてみよう」と思いつき受付へ乱入。取材陣は出かけていて、背広組の管理職が対応してくれました。「ふ～ん」、て感じで手ごたえ無し。よし、テレビ岩手に突撃だ。こちらは、新米記者の大友さんが興味深々と対応してくれました、調子に乗って玄関前の段差を降りようとしたとき、JINRIKIの付け根が車いすから外れて、小林さんが

緑の街、盛岡



前方にずり落ちてしまうハプニング。なんとか持ちあげて、車いすに戻して「どうもお邪魔しました～」、大友さんは、盛岡さんの、第37代ミスさんさでした、どうりできれいな美人でした。擬宝珠の上の橋を通り、岩山へ。「緑の街」盛岡を岩山展望台から眺めました、ここに至る途中晶子さんが、盛岡は松本市にそっくり、街並みや眺めが松本によく似ているとお話してくれました。山を下りる途中、緑色の花が咲く八重桜をみて、ホテルへ。第一例会の後に三大麺、二つ目のもりおか冷麺を食べました。私自身、あまり好きな食べ物ではないのですが、いかがでしたか？

二日目は、井上会長が合流して盛岡市内へ。いまや全国区の福田パンのお店へ。バリエーションが増えて、自分のオリジナルのパンも注

文できるようになっていました。福田パンは一度に2個は絶対食べられないので、大量に買ってだめです。余らないように買しましょう。盛岡の隠れた名物、しょうゆ団子。みたらしではありません、しょうゆです。最近住宅地の奥にこっそりオープンしたお店をご案内。続いて、盛岡町屋物語館で昭和の盛岡を堪能。最後は駅ビルフェザンで最後のお土産のお買い物。南部せんべいです。いろいろな味のせんべいが増えており、さんざん迷っておりましたが、初めてのお土産は基本のしょうゆ味ですと強く進めて、しょうゆの南部せんべいを購入。新幹線の出発時間が迫ってきましたので、ホームへ。井上メネットがお弁当を買ってプレゼントしました。この弁当も盛岡自慢の「むら八とんかつ」です。小林さんの報告では、あんなにボリュームがあっておいしい弁当はなかなか無いとの感想をいただいております。盛岡はいかがだったでしょうか？堪能していただきましたか？川越の大会での再開を約束してお見送りしました。最初から最後まで食べつくしてしたね。

「フリテン盛岡DAON」

今月は小林さんのフリテン

もりおかクラブの状況報告

5月の出席率	6/12	50 %	ゲスト3名	ビジター3名	メネット1名		
メーキャップ	3	名		5月切手	10	g	累計 38 g
5月のにこにこ	11,000	円	累計 11,000 円	5月プルタブ	0	g	累計 4,670 g
5月 石鹸	0	円	累計 563 円	りんご	3,000	円	累計 円
5月震災募金	0	円	累計 0 円	ファンド合計	0	円	

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

5月のハッピーバースディ 5/27 長岡 五咲子メネット お誕生日おめでとございます。

ゲストの小林 晶子さんも5月のお誕生日でした おめでとございます。

2017年度盛岡YMCA会員総会開催

2017年5月20日、アイーナで開催。2016年度の活動報告と、2017年の事業方針を承認いたしました。役員選任も了承されました。

フィリピンの台風30号被災地支援ワークキャンプ報告を、伊藤陸さん(ショッカー)から発表と報告がありました。家村 知佳さん(しろくま)、武田 悠さん(ごりな)の三人が参加、総勢12名のチームでした。なかなか充実したプログラムで、イロイロYMCAのキャンプサイトの屋根の修復を行ったことなどをお話してくれました。

また、盛岡YMCAより、清水弘一さん、シルバーボランティアさんに感謝状の盾をお送りいたしました。ありがとうございました、これからもよろしくお願いいたします。



濱塚盛岡YMCA総主事

この日の最大の報告は、濱塚総主事が正式に盛岡YMCAへ移籍することが、仙台YMCAとの交渉で最終局面を迎えたことです。濱塚総主事は書類上、仙台YMCAからの出向となっ

たのです。知り合った時から盛岡YMCAの職員だと思っておりましたので、すこしばかりいたしました。手当や退職金の打ち合わせも終わったとのことで、活動はいままで通りでいいのですが、正式に盛岡YMCAの人間となってより一層頑張ってもらいましょう。もちろんもりおかワイズメンズクラブは全面バックアップしていきます。共に実りある未来をきりひらきましょう。

光、輝く、みどりと太陽の街



新しい枝に葉が復活

5月19日、朝から晴れ上がった青空の下には、新緑の葉と吹き抜ける風、「爽やかとはこのことだ！」盛岡は1年中で一番いい季節を迎えております。ソメイヨシノは北海道まで行っています。いまは八重桜が真っ盛り。岩山にある、緑色の八重桜も満開、見事な花をつけています。そして昨年、樹勢が落ちて、枯れ枝だけになったしま

った肴町のしだれ桂は、新しい枝が伸びて美しさを取り戻しつつありました。

「はてない空、かげりのない雲、季節の風、鳥は向かい風 走りぬける太陽の街を、ころげまわる、光の間を。輝きあふれる、緑と光の街を。走りぬける、まぶしさの中を、振り返らず、たちどまりもせず、また逢う時には緑と光の街で〜。」

井上陽水の「太陽の街」という歌の歌詞です。5月の盛岡にぴったりだとおもいませんか。小林晶子さんは、ユーミンの「緑の町に舞い降りて」が盛岡を唄った歌だと知っていました。緑の町

に舞い降りては大関さんが1回目の会長の年に、もりおかクラブの5月の歌に認定してくれました。ユーミンも大好きです。「太陽の街」は5月の歌のセカンドソングにしましょう。



葉の色と一見区別ができません



ピンクと緑のコラボ

編集後記

現在、5月31日午後0時、お昼休みを利用してブリテン仕上げのラストスパートです。明日から6月です。もしかしたら、5月中に皆様に配信できない可能性があります、というか今日中にお届けするのは無理でしょう。まことに申し訳ございません。

ブリテンの編集には1週間かかります。月末が近くなるとブリテン週間と称して、少しずつ書き始めるのですが、なんと北東部長の責任として今年の北東部の活動発表が大会であります。その原稿作成に追われ、27日、28日の2日間を削られてしまいました。気づけば、29日。やべ〜、どしましょ。って、書かないで済むはずもなく、「気合いを入れろ！」内なる長岡が言いました。よっしゃ、やるべ。2日で仕上げる期限は30日。やっぱり無理でした。31日までかかってしまいました。

長野の小林さんは身体障害者です。私は障害者を目の前にすると「原因は何ですか。」と尋ねずにはられません。聞いてどうにかなるものではありませんが、聞いてしまいます。障害者の

社会参加はとても重要で、理解ある方々がもっと増えればいいなと思っております。以前、目が見えない方に生まれつきですか、事故ですかと聞きました。初対面の人にこんなことを聞かれたのは初めてだと言っていました。私は、車いす生活者とメガネをかけて生活している人は、ほとんど同じだと思っております。車いす生活者はどんどん社会に出て、普通に生活できる社会が絶対必要です。小林さんとの出会いは、私の考え方を実践に移すいい機会をくれたと感謝しています。

完成しました。5月号のブリテン。ではまた来月。



初夏、夕暮れの岩手山。どうです、このシルエット。